

### 7-3 現地写真（構造物調査）

（撮影位置は水圧鉄管路，発電所付近平面図に記載）



1  
日野川第一(発)  
取水口



2  
同上  
左側壁  
位置:850m 付近



3  
同上  
左右側壁  
位置:1740m 付近

4

日野川第一(発)

右側壁

位置:2230m付近



同上

横坑出口





NO. 6  
日野川第一(発)  
監査用トンネル  
目地切れ  
アーチ部



7  
同上  
監査用トンネル  
左側壁  
クラック



8  
同上  
監査用トンネル  
アーチ部  
目地切れ  
幅:5mm

日野川第一(発)

監査用トンネル

アーチ部

目地切れ



10

同上

監査用トンネル

アーチ部

目地切れ



監査用トンネル

坑口付近アーチ部

横断方向クラック

段差有り

(最大2cm程度)





12

日野川第一(発)  
監査用トンネル  
アーチ部  
縦断方向クラック



13

同上

監査用トンネル  
アーチ部  
斜め方向クラック



14

同上

監査用トンネル  
アーチ部  
縦断方向クラック

15

日野川第一(発)

監査用トンネル

アーチ部

縦断方向クラック



16

同上

監査用トンネル

インバード部

縦断方向クラック





17

日野川第一(発)

監査用トンネル

第1伸縮管間

ロッカー支那

(左側)



18

同上

第1伸縮管

ズレ: 5cm



19

同上

第1伸縮管

ズレ: 5cm

(近景)



20

日野川第一(発)

第1固定台

左側面

※固定台上・下流面

および右側面に空

隙はなし



21

同上

第1～第2固定台

左側擁壁

背面状況





22

日野川第一(発)

第1~第2固定台

左側擁壁

背面状況



23

同上

第1~第2固定台

左側擁壁

目地切れ



24

同上

第1~第2固定台

左側擁壁

クラック

(写真No.23より

上流位置)

25

日野川第一(発)

第1~第2固定台

左側擁壁

(同写真No.24)



26

同上

写真No.25から

上流方向を見る





27  
第1~第2固定台  
左側下流方向



28  
第1~第2固定台  
左側擁壁  
破損状況



29  
第1~第2固定台  
左側  
凹凸力一支承

30

第1～第2固定台

右側

ロッカー支承



31

第1～第2固定台

左側

ロッカー支承



32

第1～第2固定台

右側

ロッカー支承





33

第1～第2固定台  
左側  
ロッカー支承



34

第1～第2固定台  
右側  
ロッカー支承



35

第1～第2固定台  
右側  
ロッカー支承

36

第1～第2固定台  
右側階段



37

第3伸縮管  
右側面  
上面より11cm  
※上面が開いて下面  
の開きはなく、少  
し縮んでいる。





38

日野川第一(発)

第2-第3固定台

左側面

下面を見る



39

同上

第2-第3固定台

右側面

下面を見る



40

同上

第2-第3固定台

右側面

下面を見る



41

日野川第一(発)

第3固定台

上面を見る



42

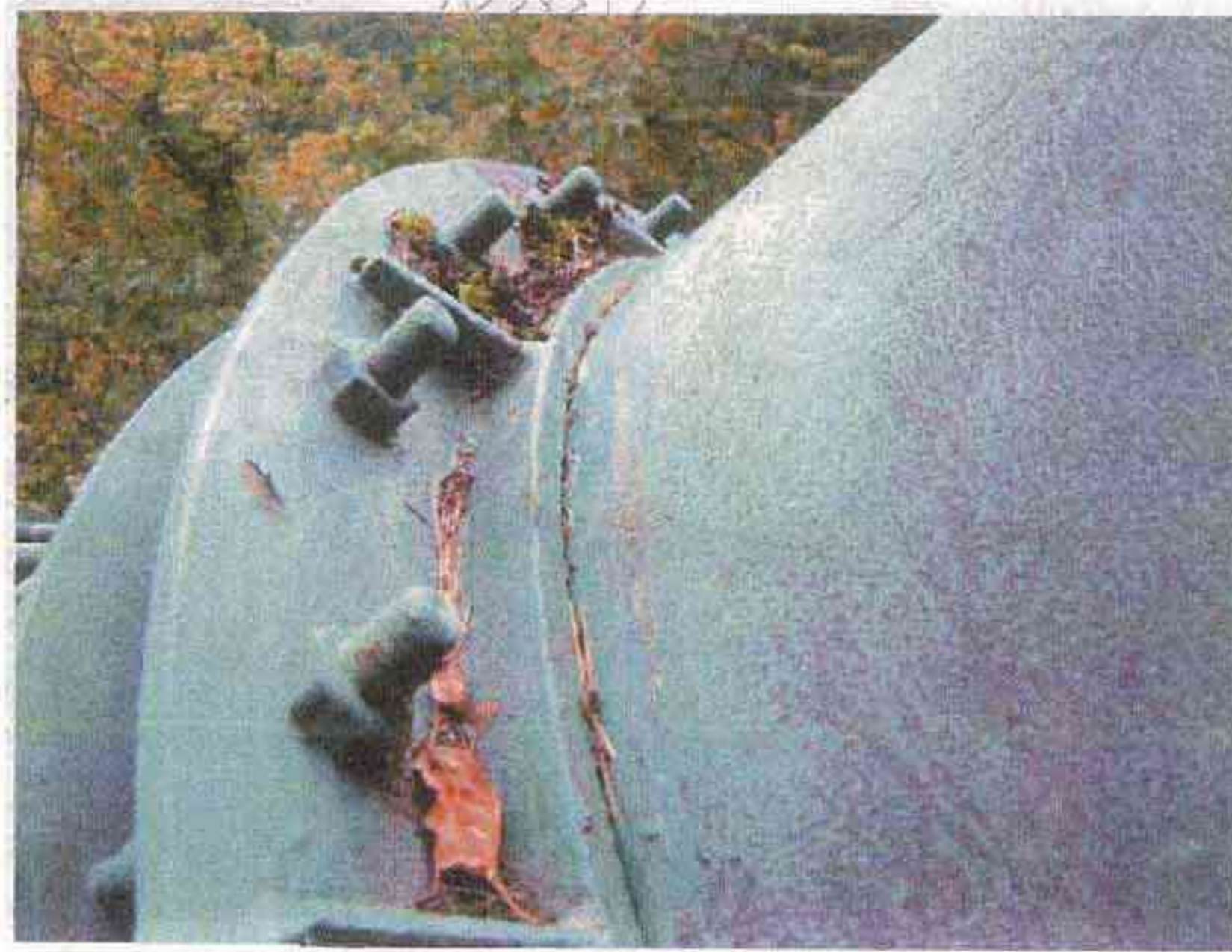
同上

第3固定台

連続

土留埋壁のそば





43

日野川第一(発)

第4伸縮管

移動なし



44

同上

第3・第4伸縮管

下面を見る

変状はなし

45

日野川第一(発)

発電所

対岸状況



46

同上

発電所

屋外変電所



## Ⅱ 鳥取県西部地震による日野川工業用水道の被害状況

### 1 被害状況

日野川工業用水道は、米子、境港両市及び日吉津村の96事業所に給水を行っているが、鳥取県西部地震により配水管の断裂、継手の離脱等により多数の箇所でも漏水が発生し、境港市竹内団地と昭和町の一部で一時給水支障となった。

日野川工業用水道 漏水箇所一覧

漏水箇所	区分	箇所数	給水支障事業所数	復旧日時	備考
境港市竹内団地	配水支管	18	13	9日16:00 4社 10日20:15 8社 12日18:00 1社	仮復旧 敷設替え要
	水管橋	1		9日11:00	仮復旧
境港市 昭和町	配水支管	3	10	7日12:00 5社 8日16:40 5社	
米子市 八幡	配水本管	2	-	送水可能（仮復旧）	敷設替え要
米子市 旗ヶ崎	配水本管	1	-	8日 7:50	
米子市 三旗町	配水支管	1	-	8日16:00	
計		26			

### 2 被災後の対応

直ちに復旧作業に着手し、破損箇所の補修を行うとともに、断水の続いた竹内地区のユーザーの要望に応じ給水車での供給を行った。

また、竹内地区は液状化現象により被害箇所が多かったこともあり、早期給水するため、一部区間について仮配水管で応急復旧を行うなど漏水箇所の復旧に務めた結果、12日18時、全事業所が給水可能となった。

### 3 現在の対応状況

現位置での恒久復旧が不可能な箇所については、配水管の布設替えを計画し発注準備を整えており、3月末日の工事完成を図っている。

また、多くの被害があった竹内団地内は、安定供給と被害の低減を図るため、配水管のループ化を行うこととし、平成13年度の予算要求を行っている。

### 4 今後の課題

この度の被害は埋め立て地に集中し、配水本管の被害は軽微であったものの、本管で同様の状況が起これば長期断水による経済活動の停滞、漏水による幹線道路の交通支障等その影響は重大なものとなる。

そのため、従来から懸案となっているPC管区間（延長約18Km）の早期な改築補助事業の検討が必要である。